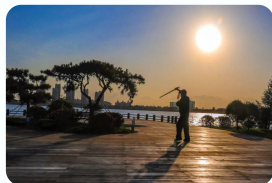
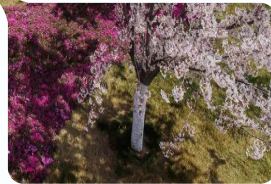




美しき桜湖



荣成市蜊江中学校
一年生





桜湖の昔と今



桜湖体育公園は榮成市街地の東南方向に位置し、北は市街地に寄りそい、南は海、東は文化体育センター、西は桑溝湾湿地公園に隣接している。ここはかつて荒れ果てた沼沢でしたが、2016年に総合改造を経て、四方八方に驚く“都市リビング”となり、市民のフィットネスやレジャー娯楽の良い場所にもなりました。



公園の緑被率は 85% に達し、合計 59 万株余り、40種以上の植物があります。園内にはソメイヨシノ、大島桜、関山桜、しだれ桜など数万本の桜が植えられ、入り口の桜雨、桜の道、桜の芝生、桜の森などの桜をテーマにする景観を構築し、異なる品種の桜が交互に咲き、開花期は2ヶ月に達します。

美篇 @大唐传媒
www.meipian.cn/c/1866349



体育公园

公園の水面は2.8平方キロメートル、環状のカラートレイルの長さは約6キロである。国際大会を引き受けできるの湖一周サイクリングコースとカヌー訓練施設がセットになっていることから“桜湖体育公園”と呼ばれています。。



桜湖体育公園は“湖”をテーマとし、湖一周サイクリング、ウォーキングフィットネス、釣り、水上運動、子供向けエンターテイメントなどの多機能が一体となり、湖一周サイクリング、国際マラソン、桜湖健歩歩きなどの多くのスポーツイベントの開催に成功した。



桜湖体育公園は“生態”を特色とし、園内には約18科50種余りの動物が生息しており、鳥類を中心に、カワアイサ、オジロツル、コウノトリなどの国家一級保護動物、オオハクチョウなどの国家二級保護動物がある。広い水面、大視野の陸地、大面積の緑化、湖の周りの長い遊歩道、桜の森などの特色ある景観は、周辺の自然風景、文化的景観とスポーツ競技を緊密に結びついており、どこでも人と自然の調和を明らかにしている。





湖の風景に雅趣がある

湖には湖の雅趣があり、花には花の美がある、桜湖の建物は湖の光に映え、緑の草は緑の葉と輝き、空は湖の影に映え、緑の木は波の光に映えて、桜湖湖畔を歩いてこそ、“自由呼吸・自在荣成”の本当の味を実感することができる。この空気はしっとりしていて、少し甘いようです。あなたが自転車に乗って、散歩しても、朝ランニングしても、桜湖は彼女ならではの味で、すべての参加者に運動の美しさ、レジャー養生と生活の楽しみを享受させます。

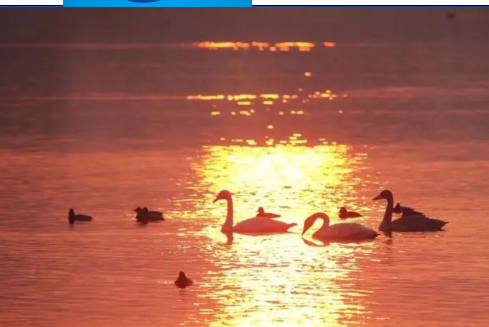




夜景は人々を引きつける

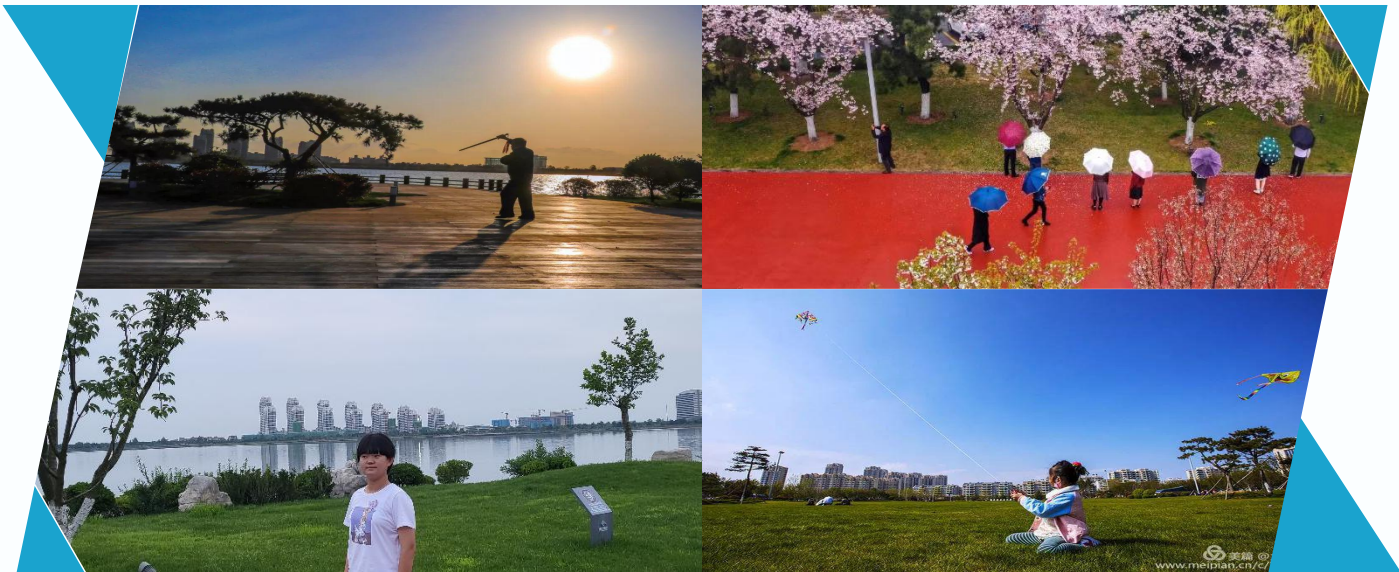


昼間の桜湖は水面に咲き出た蓮の花、あでやかであるとすれば、夜の桜湖はつぼみのように可憐である。月光の下で、彼女は暖かい懐を開いて、八方の来客を歓迎します。その光が輝く赤い回廊、風に揺れる岸辺のしだれ柳、多彩な変幻の環状彫刻、見え隠れする水の中の影は、まるで人間の仙境のようで、酔って、帰るのを忘れてしまう。



赤瓦、緑の木、青い海、青空が夜のとばりの下に色を隠し、別の景色を見せている。ビル群と桜の恋のライトショーが始まり、蛇行する湖岸線が見事に描かれている。輝く光が流麗な景色を鏡のような水面に描いているが、誰がこれが天上の人間界なのか、人間界の天上なのかを区別することができるだろうか…。白鳥の群れが自由に遊んだり、湖の中で遊んだりして、その池の青い水にさらに生き生きとした気配を添えていた。





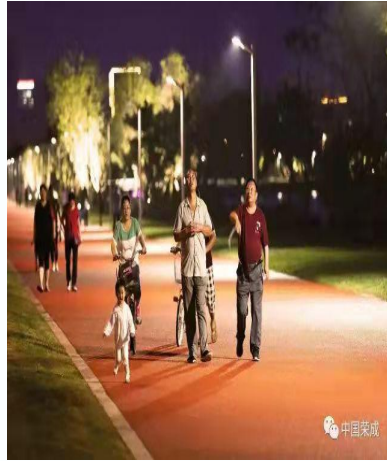
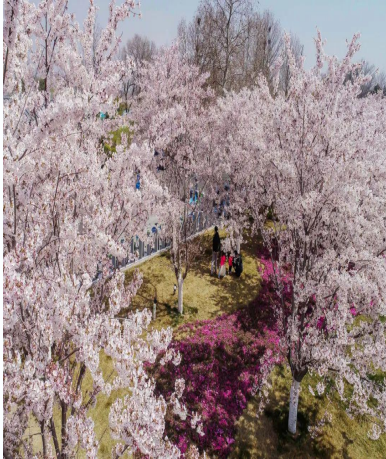


人は湖のほとりを歩き、景色は水中に泳いでいる。ここを歩いていると、一日の疲れや悩みが一瞬で吹き飛び、心に安らぎと安らぎだけが残ります。桜湖体育公園は運動場、遊園地というより、私たちが自然に親しみ、自然を感じ、人と自然が調和している心の楽園と言えます。





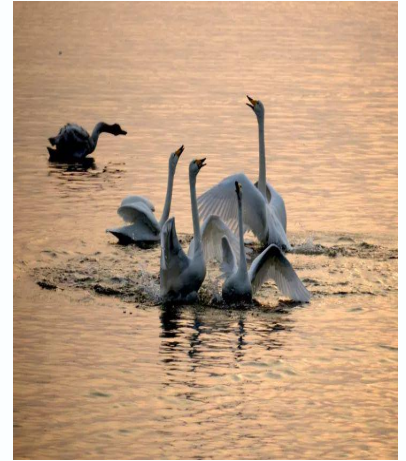
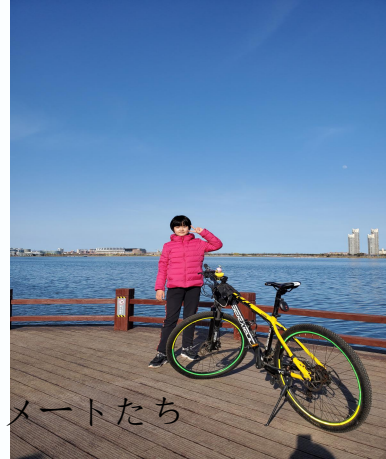
春に花見



夏の夜に涼をとり

私はクラスメートたち

秋に自転車乗り



冬に白鳥を見る

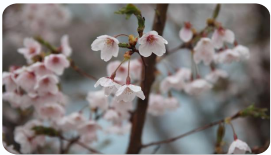
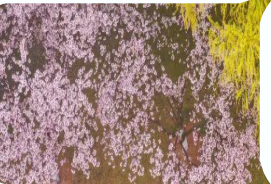
と約束して、よくここで春に花見、夏の夜に涼を取り、秋に自転車乗り、冬に白鳥を見ます、“四季折々の景色、楽しみも尽きません”。



桜湖体育公園は、栄成生態建設のモデルとなっており、彼女は緑豊かな姿で、湖海と共に世界中の客を迎え、栄成へようこそ、私たちと一緒に桜湖の美しい風景楽しみましょう。

四季折々の景色、楽しみも尽きません





谢谢观看

